

ムの延長と併せて実現に向けて要望したいと考えています。

榎戸駅周辺の整備

問 駅に隣接する狭隘で危険な踏切の改善について。

市長 踏切拡幅には、前後の道路を拡幅整備する必要があるため関係者全員のご協力を得られないと事業を立ち上げることが出来ません。また、費用も高額なので財政的な面から、現在計画中の路線改良工事が終了してからでないかと手がけられない状況です。

問 駅北側への駐輪場等の整備について。

市長 自転車駐輪場は、必要台数は確保されていますが、民間施設の敷地及び道路脇への駐車台数が、増加している状況です。現在の措置としては、自転車駐輪場への誘導の徹底を図りたいと考えています。

問 駅前広場（送迎用のロタリーを兼ねたもの）の施設について

市長 駅前広場の整備とともに進入路の整備を併せて行う必要があると考えるので、各種整備手法を考慮に入れて幹線道路を取り入れ

た一体的なより良い市街地形成が、図れるよう検討したいと考えています。

個人質問 中田 眞司

道路問題

問 県道277号線神門八街線、交進小学校入口から佐倉方向に向かう歩道の整備を望むが如何か。

市長 歩行者、とりわけ交進小学校に通学する児童の安全面から、是非整備をお願いしたい路線です。今後、県と協働して、歩道整備の更なる推進に努めたいと考えています。なお、交進小学校入口の信号機付近約20メートルの区間は、整備に必要な用地の確保がほぼ完了し、平成19年度に実施されるということです。

問 市道203号線交進小学校裏の道路整備と同時に野馬土手の修復を望むが如何か。

市長 現在、路肩注意標を設置し、車が寄らないようにして土手の保護に努めています。整備は北総中央用水事業の完了後、その修復工事と併せ検討し、野馬土手に車両が進入できないよう、保護対策を講じたいと

考えています。

問 市道204号線拡張（拡幅）計画について伺う。

市長 道路に隣接する土地に北総中央農業利水事業による送水管が埋設されており、この用地は将来、歩道用地として整備が図られるものです。道路改良や部分的交差点改良などは、現在進めている道路改良事業などの進捗状況や市の財政状況を勘案し、検討したいと考えています。

市民サービス

問 緊急時や現住所を知るために電柱に住所看板の設置を望むが如何か。

市長 電柱を利用した住所表示は、緊急時や現住所を知る上で利便性はありますが、住所表示が一枚一枚違



うことから設置経費等の問題があるので、費用対効果や維持管理面を考えると、現在は難しいことから今後の研究課題として考えています。

ふれあいバス

問 ふれあいバスの乗り入れについて新堀地先、また真木山方面の延長を望むが如何か。

市長 今年度は数年ごとのふれあいバス運行協議会を設置して運行体系全般にわたる検討をお願いしました。この中で、新堀、真木山地域も含めてその対応について検討がされ、新堀地先は、乗り入れの必要ありと提言を受けているので、その方向で進めたいと考えています。真木山方面は、総運行時間や道路事情により、今回は乗り入れが見送られているのでご理解願います。

農業問題

・農業後継者

問 担い手の確保について今後の対策は如何か。

市長 担い手を対象としたパイプハウスや農業機械の導入における各種補助事業や、制度資金を活用した農



業経営の近代化を図る上で、支援を行うほか、家族経営協定の締結を推進する事により労働条件の整備などを進めることで担い手の育成・確保に努めています。今後、後継者の育成について将来の農業を担う農業経営者を支援できる体制と環境の整備に努めます。

・認定農業者の確保

問 どのような結果だったのか。また、価格安定事業にどうつながっていくのか。

市長 認定農業者制度の説明及び認定農業者となるための経営改善計画書の作成について支援及び確認作業を進め、これにより245名の方が経営改善計画書を提出されたので、順次認定作業を進めていく予定です。

価格安定事業は、今回の集計結果によって野菜価格安定制度の補てん率に影響がある産地区分が決定されることとなります。本市において制度の対象となる人参、大根、トマトの3品目は、一番上位となる産地区分の要件である60%をすべての品目において満たす結果となりました。国の施策では、担い手である認定農業者に重点的に支援を行っていくと言ったことですので、今後も更に認定農業者の育成・確保に努めたいと考えています。

日本共産党

丸山わき子
右山 正美
京増 藤江

代表 丸山わき子
質問

市長の政治姿勢

問 新年度予算編成方針で、「厳しい財政状況」と言いつつ、例年どおり財政を圧迫している区画整理事業最優先の予算編成となっており、一層市財政をゆがめていくことは明らか。市民